

第六十二回フォト句優秀作品（28年5月16日）



春の陽に **私を運ぶ**  
**風を待つ** 下山健夫  
寸 評：タンポポの綿毛の  
気持ちを素敵な措辞で表現  
した。



初夏の空 **夢を風ごと**  
**釣り上げる** 中村晃也  
寸 評：風車をバックに  
メルヘンチックな画像と句  
が良くマッチしている。



人様を 家族総出で  
お出迎え 松田 昌康  
寸 評：屋久島に生息して  
いる野生の猿。珍しい光景  
を作品に活かした。



華やかに **女同士の心理劇** 安藤 晃二  
寸 評：着飾った二組の女性群が妍を競い  
合っているという見立ての妙。



## ぶなの森 心潤し とき停まる 清水 勝

寸評：南八甲田山麓の蔦温泉周辺の沼巡りの途中の絶景である。

作者の解説：「湖面を見て心が潤され、時間が停止した気持ちをそのまま句にしました。写真説明にならず、詩情豊かな表現になっているでしょうか？」

写真の迫力に圧倒され、二の句がつけないのが正直なところ。

## 付け句



今月は大月さんの出題で、満開の三春の滝桜の絶景です。

- |                      |        |
|----------------------|--------|
| 1) 大地より花を汲み上げ滝となす    | 新田 由紀子 |
| 2) 山姥のザンバラ髪はピンク色     | 松田 昌康  |
| 3) 滝さくら経済効果はなんぼやねん   | 大月 和彦  |
| 4) 老いてなほ益々盛ん花の時季(とき) | 平尾 富男  |
| 5) 杖突いて待機老人介護待つ      | 矢澤 正二  |
| 6) 大スター介護度2でも客集め     | 池田 隆   |

寸評：

- 1) 作者は先月に引き続き1位。花を汲み上げ滝となすの措辞が卓抜。
- 2) 少し強引だが、満開の桜をザンバラ髪の子守婆とみたユニークな視点。
- 3) すぐに金目の勘定をするのは当クラブ会員の普遍的素質と見たが。
- 4) 絶頂期を過ぎた老人の自画自賛の句と思えば許せるのでは。
- 5) 老木の支柱を杖と見立てた。待機するのは保育園児だけではないのだ。
- 6) 老木を褒めているのか、皮肉っているのか面白い感覚だ。

先月に引き続いての桜の写真で作句が難しかったせいもありますが、1)の作品が際立って上品に思えるのはプロマネだけでしょうか？